

序

近年、自然に対する関心が高まっています。それは、失われていくものへの愛惜の気持ちをあらわしているとともに、自然界の一員である私たちが、自ら危機感を感じてのことだと思います。

福生市は、元々山地や丘陵がない平坦な地形で、大部分が雑木林や田畑でしたが、都市化の波はそれらを住宅地に変え、かつての景観を大きく変貌させました。現在では、緑の占める空間もわずか一部に残されるばかりとなっています。

福生市から緑が失われはじめた頃この植物調査は開始されました。樹木・竹類を対象にはじめられたこの調査は、今回の草本類調査で10年が経過しましたが、この間移り変わる福生の自然を常に愛情をもって文字通り草の根を分けて調査をしていただいた調査員の方々には、ひとかたならぬご苦勞があったことと思います。

今回、調査の結果が報告書として刊行されたことは、学術研究・学校・社会教育に役立つものと確信するとともに、一人でも多くの方が自然保護・保全への関心を深めていただければ幸いと存じます。最後にこの調査にあられた宮岡先生はじめ調査員の方々、御協力いただいた関係者の皆様に対し厚くお礼申し上げます。

昭和59年2月

福生市教育委員会

教育長 森 田 猛